

# 校区教育協働委員会の役割

## 3 区費教職員等の活用に関する意見の例

区学力定着度調査の結果から、理科の習熟に課題があることが分かりました。

実験や観察を多く取り入れた授業で子どもの興味を高めたらどうでしょう。

中学・高校の理科の教員免許を持つ方を、区費講師として活用することで、授業内容が充実するのではないのでしょうか。



## 4 学校支援活動の企画・調整の例

登下校時に子どもたちの挨拶運動に地域の方も加わったらどうでしょうか。

学校支援地域本部でボランティアを募り、登下校時に挨拶運動を実施しましょう。

子どもたちが地域でもっと挨拶ができるようになってほしいです。

保護者にも是非考えてほしい内容です。校区教育協働委員会からも働きかけましょう。



# 学校支援地域本部の概要

## ● 学校の教育活動を支援します

学校支援地域本部は「学校地域コーディネーター」「学校支援ボランティア」「学校関係者」で構成され、学校の教育活動を地域全体で支援するとともに地域の教育力の活性化を図ります。

地域の様々な経歴をもった人たちが協力することによって、学校の教職員だけではできないことができたり、教職員が子どもたちの指導に関わる時間を増やしたりすることができるようになります。

## ● 学校支援地域本部による学校支援の仕組み

### 学校支援 ボランティア



学校環境整備、学習支援、読み聞かせ、登下校時の安全パトロールなどの活動を行います。

### 学校地域 コーディネーター



連絡・調整

### 学校

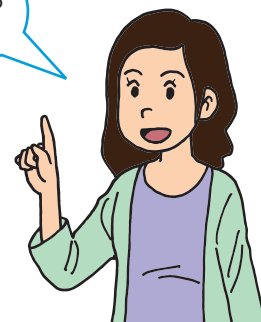
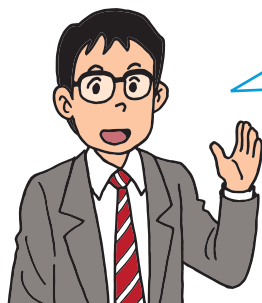


どのような人材が、どのような教育活動で必要なのか、協議し、支援活動の要請をします。

学校支援地域本部の活動とPTA活動はどう違うのですか？

学習の個別支援等、PTA活動とは異なる活動分野があります。学校行事の支援など、これまでのPTA活動と共通する部分は、協力分担して行います。

また、学校支援地域本部の活動には、保護者のみなさまを含めた地域のいろいろな方々に参加していただいています。



# 学校支援地域本部による学校支援活動の流れ

## ● 学校地域コーディネーターとは

学校地域コーディネーターは、児童・生徒（地域の子ども）のために、学校で行われる教育活動の充実に向けて、学校支援のコーディネートを行います。

そのために、学校が必要とする支援について把握し、それに応じて、組織化した学校支援ボランティアの中から、適切な学校支援ボランティアを派遣します。また、企業・NPO・大学等からの学校支援のコーディネートも行います。

さらに、地域の行事や地域での教育活動などについて、地域の要望を学校に伝えるなどの調整をします。



学校地域コーディネーターは、学校と地域（学校支援ボランティア等）をつなぐパイプ役です。  
また、校区教育協働委員会と学校支援地域本部をつなぐ役目も担っています。

## ● 学校支援活動のコーディネートの流れ

### ① 学校支援ボランティア名簿の作成

- 学校支援ボランティアの募集
- ボランティア応募票に基づいた名簿の作成

### ② 学校からの要望の把握

- どのような活動を行うのか、どのような支援が必要か確認する。
- 学校支援ボランティアは何人必要か確認する。

### ③ 学校支援ボランティアへの活動依頼

- ボランティア活動参加者の確認
- 事前打ち合わせ（ボランティア・学校）の実施

### ④ 当日の学校支援活動

- ボランティア参加者の確認
- 活動の振り返りと学校地域コーディネーターからの助言

# 学校支援地域本部の学校支援ボランティア

## ● 学校支援ボランティアとは

学校支援ボランティアは、児童・生徒（地域の子ども）のために、学校の教育活動の充実に向けて、地域にある学校の学習支援や環境整備など、様々な学校支援活動を行います。

学校支援ボランティアの登録時には、「協力できる活動内容」や「活動できる曜日や時間帯」を伝えます。登録後、学校地域コーディネーターから、学校が必要とする支援について、参加依頼をさせていただきます。

学校支援ボランティアは、**できる人が、できるときに、できること**を自らの意思で主体的に行うことが基本です。

## ● 学校支援ボランティアになるには

地域の子どもたちが健やかに育ってほしい、子どもを温かく見守りたいという気持ち、また、地域の学校の教育活動に協力したいという気持ちがあれば、学校支援ボランティアになれます。

ボランティア活動には特別な資格や技能などをもっている必要はありません。自分の趣味やこれまでの経験を生かしていただくことができます。

